

2014年8月9日(土) → 10月5日(日)

休館日：8月18日(月)・25日(月)、9月1日(月)・8日(月)・16日(火)・24日(水)・29日(月)

開館時間：午前9時30分～午後6時 ※ただし、観覧券の販売は午後5時30分まで

観覧料：一般1000円(800円) 大学生・高校生800円(600円)

※中学生以下無料。※()は前売および20名以上の団体料金。ただし、前売は一般のみ。※会期中は、本展の観覧券で「コレクション展」もご観覧いただけます。※障がい者手帳・療育手帳をお持ちの方は無料(受付でご提示下さい)。

リピーター割引 | 本展観覧券のご提示により2回目のご来場以降団体料金でご覧いただけます。

前売券販売所(販売期間 ~8月8日(金))

新潟市美術館、新潟市新潟美術館、新潟県立近代美術館、新潟県立万代島美術館、セブン-イレブン(セブンコード031-648)、

新潟伊勢丹、トップラベル新潟(DaKKY401内)、文信堂CoCoLo万代(新潟駅ビル内)、

hickory03travelers(ヒッコリーストリートベアーズ)、シネ・ウインド、ビルボードプレイスサービスタウン、

インフォメーションセンターえん(メディアシップ1F)

※NIC新潟日報販売店でもお取り寄せてきます。

主催：荒木経惟実行委員会(新潟市美術館 新潟日報社 NST)

後援：朝日新聞新潟総局、毎日新聞新潟支局、読売新聞新潟支局、

産経新聞新潟支局、BSN新潟放送、TeNYテレビ新潟、

UX新潟テレビ21、NCV新潟センター、エフエムラジオ新潟、

FM PORT 79.0、FM KENTO、ラジオチャット・エフエム新潟、

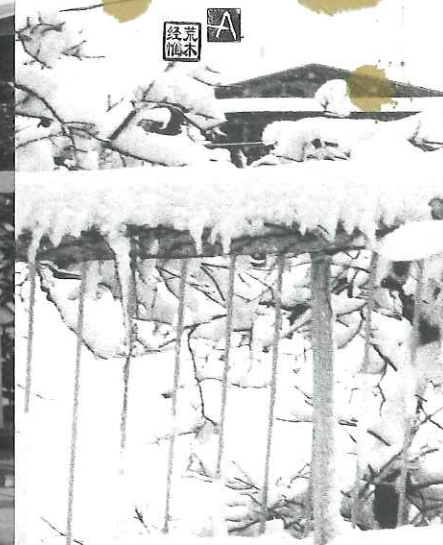
エフエム角田山ぽかぽかラジオ

協力：一色事務所

Nobuyoshi Araki
荒木経惟

往生写集

Ōjō Shashū:
Photography for the Afterlife
Love
Journey



新潟市美術館
Niigata City Art Museum

旅愛



新潟市美術館
Niigata City Art Museum

「アラキー」の名で知られる写真家・荒木経惟（あらかきのよし 1940-）。自らの新婚旅行を撮影した初期の代表作『センチメンタルな旅』（1971）を「私の愛であり、写真家決心」だと宣言して以来、被写体への慈しみに満ちた写真を撮り続けています。妻・陽子、愛猫・チロ、街と人々、女優、花、空……それらは、荒木のカメラを通して、赤裸々な姿や内に秘めた物語をさらけ出し、生の輝きと、時には表裏一体の死の気配をも、私たちに投げかけてきます。

荒木と新潟には、浅からぬ縁があります。1987-88年に頻繁に新潟を訪れ、中心街・古町などを撮影。女優・大竹一重との「旅の情景」をまとめた写真集『冬恋』（1998年、ぶんか社刊）でも新潟を舞台に選びました。2012年には、「写真に対する強い信念と挑戦者魂にあふれた」生き様によって、第6回安吾賞を受賞しています。

本展のタイトル「往生写真集」は、荒木の現在の心境を捉えたものです。2000年以降、前立腺癌発症と摘出手術、妻亡き後唯一の家族であった愛猫・チロの死、東京都内で遭遇した東日本大震災の経験などを経て、荒木は、自らの「死＝往生」を意識しはじめたといえます。しかし、その写真は「死」の間や恐怖に支配されてはいません。話題の人物・現場取材した『アラキーのニッポン、のいま』（新潟日報ほかで連載中）をはじめ、本展に出品される新作には、時代の空気を呼吸しながら、日常の営みや身近な幸福をいとおしみ、肯定する荒木の姿勢の現在が示されています。

妻や愛猫との日々が始まり、虚実取りまぜた新潟への旅、そしてひろやかな人間愛に満ちた最新作に到るまで、荒木の尽きることない「愛ノ旅」をぜひご体験ください。

関連イベント

① アラーキーの奇想対談

9月7日(日) 午後2時～午後3時30分

講師：荒木経惟氏(写真家)

辻惟雄氏(美術史家、MIHO MUSEUM館長)

メディアシップ2階 日報ホールにて(新潟市中央区万代3-1-1)

参加無料、定員280名 ※未就学児の入場はご遠慮ください。

要事前申込み 締め切り：8月20日(水)

② 学芸員による解説会

8月17日(日)、9月14日(日) いずれも午後2時～(30分程度)

当館2F講堂にて、参加無料、定員100名、事前申込不要

③ 美術講座

荒木展開催の機会に、当館学芸員が写真表現についてお話しします。

8月30日(土)「心霊写真の歴史」担当学芸員：藤井素彦

9月20日(土)「1970年代日本の写真」担当学芸員：松沢寿重

各日、午後1時30分～(90分程度)

当館2F講堂にて、参加無料、定員100名、事前申込不要

連動企画

映画上映会

『アラキメンタリ』(トラヴィス・クロウゼ監督、2005年、75分)

荒木経惟出演

『愛の新世界』(高橋伴明監督、鈴木妙羽主演、1994年、115分)

荒木経惟原作、出演(写真家役)

9月6日(土)～9月12日(金)

荒木経惟関連映画を、7日間にわたリシネ・ウインドにて上映します。詳しい上映スケジュールについては、ホームページ等でご確認ください。(有料上映)

新潟・市民映画館シネ・ウインド

〒950-0909 新潟市中央区八千代2-1-1

万代シティ第2駐車場ビル1F

TEL 025-243-5530 <http://cinewind.com/>

④ ワークショップ

「光の採集～ピンホール写真を体験しよう～」

散策しながら光を採集するように、ピンホール写真を体験しませんか？ 空き箱カメラ作りから、撮影、現像、作品鑑賞会まで。カメラと写真の原点を楽しむ2日間のプログラムです。

8月23日(土)・24日(日) 午前10時～午後4時

講師：高橋悠氏＋高橋香苗氏(デザイナー・美術家)

対象：小学校3年生以上～おとな ※2日間参加できる方

参加費：ひとり1000円 定員：20名

要事前申込み 締め切り：8月11日(月)

【①・④の申込方法】

- ・往復はがきに「参加者全員の氏名、住所、電話番号、人数、学年(高校生までの方)、「対談希望」か「ピンホールカメラ希望」」をご記入のうえ、当館までお送りください。
- ・一通につき、①2名様まで、④4名様までご応募いただけます。
- ・応募多数の場合は抽選となります。
- ・それぞれ申込み締め切り日から3日以内に、ご参加の可否を返送します。

近隣の写真展情報

新潟市美術館

コレクション展Ⅲ 牛腸茂雄

8月29日(金)～10月26日(日)

荒木と同時代に活躍した新潟県加茂市出身の写真家・牛腸を、収蔵品より特集展示。

砂丘館(旧日本銀行新潟支店長役宅)(TEL.025-222-2676)

角田勝之助 写真展「村の肖像Ⅰ」

9月2日(火)～21日(日)(休館日：9月8日、16日) 9:00～21:00

新潟大学旭町学術資料展示館(TEL.025-227-2260)

角田勝之助 写真展「村の肖像Ⅱ」

9月3日(水)～21日(日)(休館日：月曜、火曜) 10:00～16:30



センチメンタルな旅 1971年



新潟エレジー 1987年



望楽園 2011年



去年の戦後 2013年

交通のご案内

◎バスで

A 新潟駅(万代ロバスターミナル)から

① 3番線「美術館線」乗車約20分 →「新潟市美術館前」下車

② 2番線「附船町線」(附船町經由入船営業所行き) 乗車約20分

→「西堀通八番町」下車、徒歩5分

③ 13番線「観光循環バス」朱鷺メッセ先回り「犬夜叉号」乗車約23分

→「美術館入口」下車、徒歩2分

B 他の路線バス 「古町」下車、徒歩約10分

◎タクシーで

新潟駅万代口から約10分

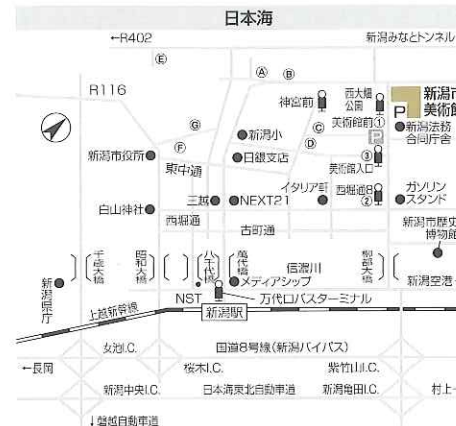
◎自動車で

① [高速道路] 日本海東北自動車道、新潟亀田ICを降り、柳都大橋経由で約20分

② 国道8号線(新潟バイパス) 紫竹山ICを降り、柳都大橋経由で約15分

周辺施設のご案内

- A 砂丘館 B 安吾 風の館 C 旧齋藤家別邸
D 北方文化博物館 新潟分館 E 新潟市水族館(マリンピア日本海)
F 新津記念館 G 新潟大学旭町学術資料展示館



新潟市美術館

〒951-8556 新潟市中央区西大畑町5191-9

TEL 025-223-1622 FAX 025-228-3051

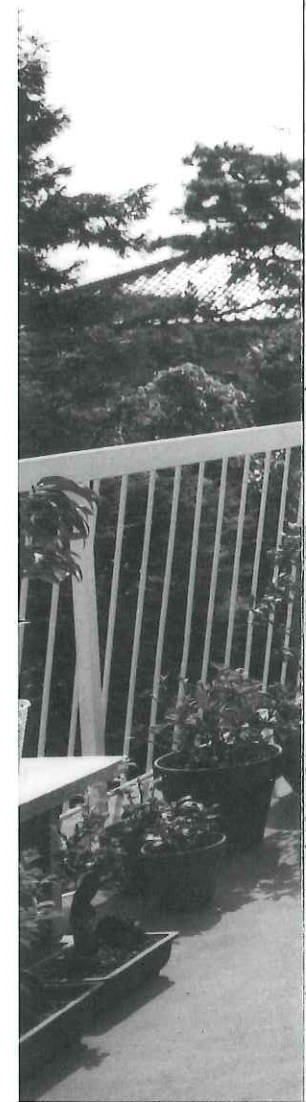
E-MAIL museum@city.niigata.lg.jp <http://www.ncam.jp/>



アラキーのニッポン、のいま 2013年



アラキーのニッポン、のいま 2013年



愛のバルコニー 1982年